

横尾山、天狗山、男山 山行報告

(山 域) 11月5日 山梨県 北斗市 横尾山 (山梨百名山 1818m)

11月6日 長野県 川上村 天狗山 (1882m)、男山 (1851m)

(コース) 5日 野辺山～信濃川上村～信州峠～横尾山～信州峠 (ピストン)

6日 野辺山～信濃川上村～馬越峠～天狗山～男山～天狗山 (ピストン)

(日 時) 平成28年11月5日 (土)～6日 (日)

(天 候) 5日 快晴

6日 曇り、霧、霞のち晴れ

(参加者) CL室、SL齋藤健志、村尾、斎藤一郎、大木、山内 (記録)

(山行タイム) 5日 千葉駅 6:10 集合＝中央道＝須玉IC＝川上村＝信州峠・横尾山登山口 (駐車場)

11:20＝カヤト原 12:05＝横尾山 12:50＝横尾山登山口 (駐車場)

14:15＝八ヶ岳高原セラヴィリゾート泉郷 16:00 到着、宿泊

6日 セラヴィリゾート泉郷 7:22 出発＝川上村＝馬越峠 8:15＝天狗山登山口 (駐車場)

8:25＝天狗山頂上 9:35＝中間地点 10:15＝男山頂上 11:35＝天狗山頂上

13:50＝天狗山登山口 (駐車場) 14:40＝中央道＝千葉駅 22:00

(山行報告) 11月5日 (土) 横尾山 1818m

朝 6:10 千葉駅北口で大木さんの車に6人が乗り出発 高速湾岸線で大井南までは順調であったがそこから首都高、中央道が調布まで込みかなり時間がかかったが、それからは順調に須玉ICまで行き降りてすぐに車3台の衝突事故の処理中に会って時間をロスしたが、国道141号線で清里、野辺山を過ぎて川上村を通り信州峠・横尾山登山口駐車場 11:20 到着、10台くらいのスペースあり

すぐに登山靴に履き替え駐車スペース脇の登山口から、なだらかな山道をたどり、やがて急な登りとなり、カラマツ林の黄色に染まる紅葉を縫って歩くと木々の合間に瑞牆山が見える、やがて展望抜群の広々とした草原の「カヤト原」12:10に出る。 天気も晴天で風もなく、少し熱いくらいで、ここでの360度の展望は晴れわたっていた。 東に瑞牆山、金峰山、南は南アルプスから富士山までの大パノラマ、西には八ヶ岳連山、北は川上村の高原野菜のハウスがマッチ箱並べ、また山塊全体がカラマツ林の紅葉でまさに素晴らしい絶景です。



八ヶ岳の山々



富士山



カラマツ林、他の木々も紅葉

下山 14:15 して、途中コンビニにより今夜の宴会用の酒と明日の朝食の食材を購入し、今夜の泊る八ヶ岳高原セラヴィリゾート泉郷 16:00 に行き、宿泊のコテージに入ると注文しておいた食材お届けサービスでの夕食の豚肉シャブシャブセットが大きな入れ物に入って準備されていた。荷物を置いてすぐにまたみんなで車に乗りリゾート泉郷の施設内にある温泉大浴場「花いずみの湯」に乗り入れ、温泉に入り、また入浴後また車で宿泊のコテージに戻り早速夕食の豚肉等のシャブシャブとビール、赤白ワイ



ンでのんびりゆったりと食事を楽しむ。2階建ての大きなコテージで我々だけの至福の時間を過ごし 21:00 に就寝。

横尾山の感想：低山ながら展望は極めてよく、山梨側から見る富士山もまた太平洋側から見る富士山と違ってよいものです。また八ヶ岳から始まり、南アルプスは甲斐駒ヶ岳、白峰三山も360度展望それはそれはお見事。

11月6日（日） 天狗山 1882m～男山 1851m

5時に起床、寝具類をかたづけ、女性のかたが素早く朝食準備、大木さんの田んぼでとれた新米を焚いてくれて昼食用のおにぎりまでも作っていただきました。昨日の夕食、今日の朝食、昼食と本当に女性のかたにはいろいろとしていただきました。このような山行はめったにないことで本当に男性群から感謝しきり！

7時20分「セラヴィリゾート泉郷」を車で出発して、途中で 昨日と同じ川上村経由で行くと昨日の山行の車の行く手に天を突くような顕著な岩峰が2つ相對してそびえていたのが、今日の2山の「天狗山」と「男山」であることが山の異様な？形から想像できた。 期待しながら登山口の馬越峠 8:25に着き、身支度をして、8:35まずは最初の「天狗山」を目指して登山を開始。

昨日と違い今朝は曇りで、少しばかり霧、風もあり寒いので場合により雪になるような空模様。 予報では快晴であった。 昨日の横尾山のすべてが良かっただけに今日はどうなるかと思いつつも、早速に始まった急登で、カラマツの紅葉や落ち葉が覆う登りを15分ほどで天狗山に続く主尾根道になり岩混じりのところどころの急こう配の岩場も出現する道を進むと、天気も回復してきて風も弱まりこれはつ



いていると思いつつ、やがて目の前に岩の断崖絶壁に近い？「天狗山」の山頂に到着 9:35. ここからも展望良好で南アルプス、八ヶ岳など 360度を見渡せたが、惜しむらくは昨日とちがって少し雲が多いこと。

休憩後 次の「男山」を目指して、岩場の多いアップダウンを繰り返しながら進んでいくとこれまた先ほどの天狗山同様に断崖絶壁でコースの目印に従い岩場を登ったり、北をまいたりして「男山」に到着 11:34. ここでもまた 360度の展望で遠くには富士山も見える。 昼食、休憩後 12:05 今度は来た登山道をたどって登山口にむかつて下山開始。 全体にアップダウンがかなりあり下山でも結構また登るので下ってきたのが何か勿体ないような変な感じにとらわれました？

来た時と違い、下山時の天狗山直下に来て見上げるとまさに鋭く突き出た断崖絶壁でこれ登るのか？ 往きもここを通りましたが、見る方向が違うところも違うのかと感動しつつ、目印に従い行くといつの間にか登れてしまい、一部は巻き道を通りまた「天狗山」の頂上 13:50 に今日2度目になりました。 後は来た時の登山口を目指し、したすら下山、駐車場に無事到着 14:40. 2日間事故もなく無事予定の山行終えた。 帰り支度をして車に乗り込み、途中温泉により汗を流して一路千葉を目指して中央道の菰崎ICから乗るが、すでに情報では例の小仏トンネルが 30kmの大渋滞。 渋滞の流れに乗り千葉駅北口へ到着 22:10 でした。

岩峰鋭いまさに断崖絶壁の天狗山



感想：今回2日間での3山は車である程度までの登りの地点（駐車場）まで行けて、登るに従いだんだんと展望がよくなり頂上はまさに360度の大展望。シャクナゲの群生もみられ、花の時期はまさに見事に咲きそろうのが見られると思います。登山道も平坦、急登、アップダウン、岩場、草原あり山の形もそれぞれに変化に富んで面白い山でした。さらに全体的にコース表示の目印が多くみられ手軽に登れます。

冬？以外は春、夏、秋とそれぞれに特徴ある素晴らしい大展望が見られることと思います。